



「すいか」の支出



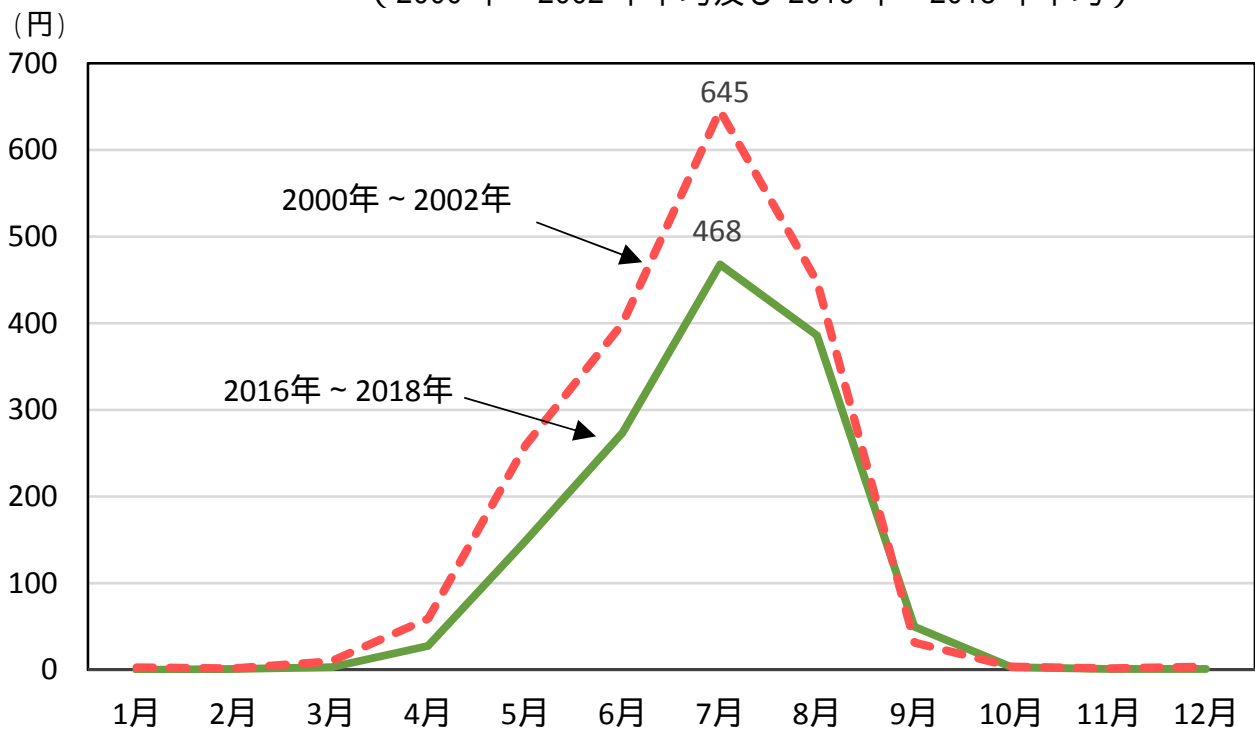
- 家計調査結果より -

夏休みが近くなりました。家族や友人と海へ行く機会も多くなるのではないのでしょうか。そこで今月は、海辺のレクリエーションの一つである「すいか割り」にちなみ、すいかの支出金額について、家計調査の結果（二人以上の世帯）から見てみましょう。

7月に最も多い「すいか」の支出

「すいか」の1世帯当たりの支出金額を月別にみると、2016年～2018年平均では、7月が468円と最も多くなっており、次いで、8月（386円）、6月（274円）などとなっています。また、6月～8月の3か月間で年間支出金額の83%を占めています。2000年～2002年平均と比較してみると、6月～8月の全ての月で減少となっており、7月では、177円の減少となっています（図1）。

図1 「すいか」の1世帯当たりの月別支出金額
（2000年～2002年平均及び2016年～2018年平均）

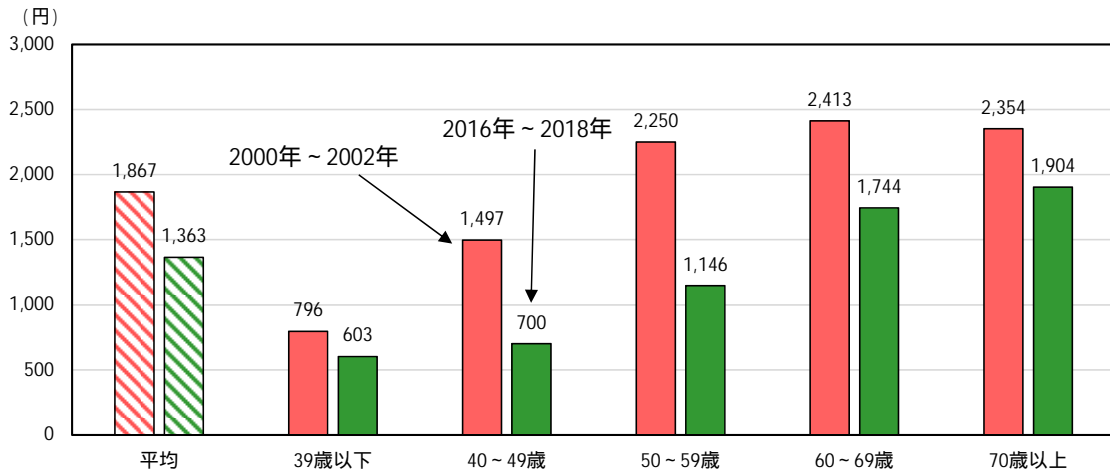


年齢階級が高くなるに従って支出金額が多い

次に、年齢階級別に「すいか」の年間支出金額をみると、2016年～2018年平均では、年齢階級が高くなるに従って、支出金額が多くなっています。また、2000年～2002年平均と比べてみると、全ての年齢階級で減少しており、特に、40～49歳、50～59歳で半分程度となっています。「すいか」を含む「生鮮果物」全体の支出金額をみても、40～49歳、50～59歳の減少幅は大きく、この2つの年齢階級での果物離れがうかがえます（図2）。

「生鮮果物」の年間支出金額は、2000年～2002年平均 2016年～2018年平均でそれぞれ以下のとおり。
 全年齢階級での平均 41,876円 35,986円（14.1%の減少）
 40～49歳 33,714円 21,153円（37.3%の減少）
 50～59歳 47,350円 28,466円（39.9%の減少）

図2 「すいか」の年齢階級別年間支出金額の推移
 （2000年～2002年平均及び2016年～2018年平均）



支出金額1位は熊本市

最後に、「すいか」の1世帯当たりの年間支出金額を都道府県庁所在市及び政令指定都市別にみると、熊本市が2,490円と最も多くなっています。次いで、新潟市（1,825円）、名古屋市（1,797円）などとなっています（図3）。

図3 「すいか」の1世帯当たり年間支出額の都道府県庁所在市及び政令指定都市別ランキング（2016年～2018年平均）

